

資 料

資料 1

平成 16 年度プロジェクト研究 「障害のある児童生徒の教育に関する総合的な情報提供体制の構築に関する実際研究」 アンケート調査

独立行政法人国立特殊教育総合研究所では、プロジェクト研究「障害のある児童生徒の教育に関する総合的な情報提供体制の構築に関する実際研究」（平成 16 年度）を実施しております。この研究では、教育、医療、福祉、労働に関する総合的な情報提供体制の中核となる「総合的な情報提供サイト」を整備し、障害のある児童生徒への生涯にわたる支援の充実に資する情報提供を行うとともに、eラーニングの可能性について検討することを目的としています。

このたび、この研究の一環として、Web サイトによる情報提供へのニーズに関するアンケート調査を実施することになりました。この調査は、本研究所 Web サイトからの情報提供を含む、障害のある子どもの教育に関する情報提供体制について、現在どのような情報を利用しているか、そして Web サイトによる情報提供としてどのようなニーズがあるかをお聞きするものです。

つきましては、下記の項目にご回答いただければ幸いです。

調査へのご回答は、平成 16 年 9 月 17 日までにお願いいたします。

この調査の結果は、平成 17 年 3 月発行予定の報告書に掲載するとともに、研究所 Web サイトに掲載する予定です。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力よろしくお願い申し上げます。

本調査に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

独立行政法人国立特殊教育総合研究所

所在地： 〒239-0841 神奈川県横須賀市野比 5-1-1

電話： 046-848-4121 内線 275, 276

[機関名について]

機関名及びご回答いただいた方の役職名をご記入下さい。

機関名 []

役職名 []

[教育委員会向けアンケート項目]

このアンケートでは、Web を利用した総合的な情報提供体制の在り方を検討するために、1) 貴教育委員会の Web サイトからの情報提供、2) 国立特殊教育総合研究所の Web サイトからの情報提供、3) eラーニングの活用、についてお聞きします。

以下の項目について、特殊教育の担当の方にご回答いただければ幸いです。

1. 都道府県政令指定都市の教育委員会の Web サイトによる提供情報について

1) 現在、貴教育委員会の Web サイトでは、障害のある子どもの教育に関してどのような情報提供を行っていますか。提供している情報について、該当するものをチェックしてください。(複数回答可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 障害のある子どもの医療に関する情報
- 障害のある子どもの福祉に関する情報
- 障害のある子どもの就労に関する情報
- 貴都道府県政令指定都市内における利用可能なサービス提供機関に関する情報
- インターネットを通じて利用できる学習ソフト教材 (Web 教材) に関する情報
- インターネットを利用した教育や研修 (eラーニング) に関する情報
- 海外における障害のある子どもの教育に関する情報
- その他

()

2) 今後、貴教育委員会の Web サイトでは、どのような情報提供を充実させていく予定でしょうか。該当するものをチェックしてください。(複数回答可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報

2) 研究所の Web サイト内にある「障害のある子どもの教育の広場」(<http://www.nise.go.jp/portal/index.html>)では、障害のある子どもの教育、福祉、医療、労働に等に役立つ情報提供を行っています。現在は、以下の項目から構成されていますが、特に有用とお考えになるのは、どの項目でしょうか。有用とお考えの項目をチェックして下さい。(複数選択可)

- 「特別支援教育について」
- 「研究所のプロジェクトから」
- 「学習指導に役立つ情報」
- 「教育相談情報」
- 「研修・研究会情報」
- 「海外トピックス」
- 「関連領域のトピックス」
- 「文部科学省だより」
- 「特別支援教育とユニバーサルデザイン」
- 「障害のある子どもの教育について学ぶ」

3) 研究所の Web サイトが提供している情報で、今後どのような内容の情報が充実するとよいとお考えですか。充実したらよいとお考えのものをチェックして下さい。(複数選択可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 障害のある子どもの医療に関する情報
- 障害のある子どもの福祉に関する情報
- 障害のある子どもの就労に関する情報
- 利用可能なサービス機関に関する情報
- インターネットを通じて利用できる学習ソフト教材 (Web 教材) に関する情報
- インターネットを利用した教育や研修 (e ラーニング) に関する情報
- 海外における障害のある子どもの教育に関する情報
- その他

()

4) 研究所 Web サイトから提供している情報について、ご意見・ご希望等ありましたら、以下にお書き下さい。

3. eラーニングについて

「eラーニング」とは、情報通信ネットワークを利用した教育や研修を指しています。今日では、さまざまな教育や研修の場で、インターネットを利用したeラーニングの取組が行われるようになってきています。ここでは、このeラーニングについてお聞きします。

1) 研修等において、eラーニングを導入していますか。

- はい
- いいえ
- 導入を検討している
- 未定

2) すでに導入している場合、その取組の内容を以下にお書き下さい。

3) すでに導入している場合、eラーニングについて、どのような点が改善されるとより効果的であると考えますか。ご意見等ありましたら以下にお書き下さい。

4. Web サイトによる情報提供において、工夫している点及び課題となっている点

1) 貴教育委員会の Web サイトによる情報提供において、工夫している点がありましたらお書き下さい。

2) 貴教育委員会の Web サイトによる情報提供において、課題となっている点がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

[教育センター・特殊教育センター向けアンケート項目]

このアンケートでは、Web を利用した総合的な情報提供体制の在り方を検討するために、1) 貴センターの Web サイトからの情報提供、2) 国立特殊教育総合研究所の Web サイトからの情報提供、3) eラーニングの活用、についてお聞きします。

以下の項目について、特殊教育の担当の方にご回答いただければ幸いです。

1. 都道府県政令指定都市の教育センター・特殊教育センターの Web サイトによる提供情報について

1) 現在、貴センターの Web サイトでは、障害のある子どもの教育に関してどのような情報提供を行っていますか。提供している情報について、該当するものをチェックしてください。(複数回答可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 障害のある子どもの医療に関する情報
- 障害のある子どもの福祉に関する情報
- 障害のある子どもの就労に関する情報
- 貴都道府県政令指定都市内における利用可能なサービス提供機関に関する情報
- インターネットを通じて利用できる学習ソフト教材 (Web 教材) に関する情報
- インターネットを利用した教育や研修 (eラーニング) に関する情報
- 海外における障害のある子どもの教育に関する情報
- その他

()

2) 今後、貴センターの Web サイトでは、どのような情報提供を充実させていく予定でしょうか。該当するものをチェックしてください。(複数回答可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報

(<http://www.nise.go.jp/portal/index.html>) では、障害のある子どもの教育、福祉、医療、労働に等に役立つ情報提供を行っています。現在は、以下の項目から構成されていますが、特に有用とお考えになるのは、どの項目でしょうか。有用とお考えの項目をチェックして下さい。(複数選択可)

- 「特別支援教育について」
- 「研究所のプロジェクトから」
- 「学習指導に役立つ情報」
- 「教育相談情報」
- 「研修・研究会情報」
- 「海外トピックス」
- 「関連領域のトピックス」
- 「文部科学省だより」
- 「特別支援教育とユニバーサルデザイン」
- 「障害のある子どもの教育について学ぶ」

3) 研究所の Web サイトが提供している情報で、今後どのような内容の情報が充実するとよいとお考えですか。充実したらよいとお考えのものをチェックして下さい。(複数選択可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 障害のある子どもの医療に関する情報
- 障害のある子どもの福祉に関する情報
- 障害のある子どもの就労に関する情報
- 利用可能なサービス機関に関する情報
- インターネットを通じて利用できる学習ソフト教材 (Web 教材) に関する情報
- インターネットを利用した教育や研修 (e ラーニング) に関する情報
- 海外における障害のある子どもの教育に関する情報
- その他

()

4) 研究所の Web サイトから提供している情報について、ご意見・ご希望等ありましたら、以下にお書き下さい。

3. eラーニングについて

「eラーニング」とは、情報通信ネットワークを利用した教育や研修を指しています。今日では、さまざまな教育や研修の場で、インターネットを利用したeラーニングの取組が行われるようになってきています。ここでは、このeラーニングについてお聞きします。

1) 研修等において、eラーニングを導入していますか。

- はい
- いいえ
- 導入を検討している
- 未定

2) すでに導入している場合、その取組の内容を以下にお書き下さい。

3) すでに導入している場合、eラーニングについて、どのような点が改善されるとより効果的であると考えますか。ご意見等ありましたら以下にお書き下さい。

4. Web サイトによる情報提供において、工夫している点及び課題となっている点

1) 貴センターの Web サイトによる情報提供において、工夫している点がありましたらお書き下さい。

2) 貴センターの Web サイトによる情報提供において、課題となっている点がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

[盲・聾・養護学校向けアンケート項目]

このアンケートでは、Web を利用した総合的な情報提供体制の在り方を検討するために、1) 貴学校の Web サイトからの情報提供、2) 国立特殊教育総合研究所の Web サイトからの情報提供、3) eラーニングの活用、についてお聞きします。

以下の項目について、貴校の情報教育の担当の方にご回答いただければ幸いです。

1. 盲・聾・養護学校の Web サイトによる提供情報について

1) 現在、貴学校の Web サイトでは、どのような情報提供を行っていますか。提供している情報について、該当するものをチェックしてください。(複数回答可)

- 学校紹介
- 学校の運営方針
- 教育課程についての情報
- 教育実践についての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 学校で受けられる教育相談に関する情報
- 地域の支援サービス機関に関する情報
- 交通案内
- 学校の電話番号
- 学校の所在地情報
- その他 ()

2) 今後、貴学校の Web サイトでは、どのような情報提供を充実させていく予定でしょうか。該当するものをチェックしてください。(複数回答可)

- 学校紹介
- 学校の運営方針
- 教育課程についての情報
- 教育実践についての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 学校で受けられる教育相談に関する情報
- 地域の支援サービス機関に関する情報
- 交通案内

- 「お問い合わせ一覧」
- 「交通案内」

2) 研究所の Web サイト内にある「障害のある子どもの教育の広場」(<http://www.nise.go.jp/portal/index.html>)では、障害のある子どもの教育、福祉、医療、労働に等に役立つ情報提供を行っています。現在は、以下の項目から構成されていますが、特に有用とお考えになるのは、どの項目でしょうか。有用とお考えの項目をチェックして下さい。(複数選択可)

- 「特別支援教育について」
- 「研究所のプロジェクトから」
- 「学習指導に役立つ情報」
- 「教育相談情報」
- 「研修・研究会情報」
- 「海外トピックス」
- 「関連領域のトピックス」
- 「文部科学省だより」
- 「特別支援教育とユニバーサルデザイン」
- 「障害のある子どもの教育について学ぶ」

3) 研究所の Web サイトが提供している情報で、今後どのような内容の情報が充実するとよいとお考えですか。充実したらよいとお考えのものをチェックして下さい。(複数選択可)

- 障害のある子どもの教育施策に関する情報
- 障害に関する基本的な情報
- 障害のある子どもの教育に関する研修講座や研究会についての情報
- 教育相談をどこで受けられるかについての情報
- 指導方法に関する情報
- 学習教材に関する情報
- 障害のある子どもの医療に関する情報
- 障害のある子どもの福祉に関する情報
- 障害のある子どもの就労に関する情報
- 利用可能なサービス機関に関する情報
- インターネットを通じて利用できる学習ソフト教材 (Web 教材) に関する情報
- インターネットを利用した教育や研修 (e ラーニング) に関する情報
- 海外における障害のある子どもの教育に関する情報
- その他

()

4) 研究所 Web サイトから提供している情報について、ご意見・ご希望等ありましたら、以下にお書き下さい。

5. eラーニングについて

「eラーニング」とは、情報通信ネットワークを利用した教育や研修を指しています。今日では、さまざまな教育や研修の場で、インターネットを利用したeラーニングの取組が行われるようになってきています。ここでは、このeラーニングについてお聞きします。

1) 貴学校では、eラーニングを導入していますか。

- はい
- いいえ
- 導入を検討している
- 未定

2) すでに導入している場合、その取組の内容を以下にお書き下さい。

3) すでに導入している場合、eラーニングについて、どのような点が改善されるとより効果的であると考えますか。ご意見等ありましたら以下にお書き下さい。

6. Web サイトによる情報提供において、工夫している点及び課題となっている点

1) 貴学校の Web サイトによる情報提供において、工夫している点がありましたらお書き下さい。

2) 貴学校の Web サイトによる情報提供において、課題となっている点がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

資料2 平成16年度福岡教育大学免許法認定公開講座で実施したアンケート項目

平成16年度福岡教育大学免許法認定公開講座 障害のある子どもの情報教育とその指導法
以下の項目について、ご回答の程、よろしくお願いいたします。

1 本公開講座の受講について

(1) どちらの県・市の学校から来られましたか。

北九州市 福岡県 長崎県 宮崎県 その他

(2) 受講した日にチェックをお願いします。

25日 26日 27日

(3) 受講する日を決めた理由について(複数回答可)

内容に興味があった 必要性を感じた 校内で話し合って決めた
 3日間を通して受講することにした 受講できない日以外を受講した その他

※ その他の場合、以下にご記入ください。

2 公開講座の設定について

(1) 本講座の開催時期は、いかがでしたか。

早い----- 問題ない----- 遅い

(2) 公開講座の開催について、その通知時期はいかがでしたか。

早い----- 問題ない----- 遅い

(3) 通知の方法は、どの方法が望ましいとお考えでしょうか。
できれば、自分の意見と勤務校の意見を含めて書いていただけないでしょうか(複数回答可)。

学校への文書での案内 Webページでの案内 学校への電子メールでの案内
 学校へのFAXでの案内

(4) 公開講座の案内が、教職員全員に周知されていましてでしょうか。

周知されていた あまり知らされていなかった

(5) 3日間という期間の長さについて

短い----- ちょうどよい----- 長い

(6) 1日毎の受講を可としたことについて

1日ごとの設定がよい--- どちらでもよい--- 3日間連続の受講の方がよい

(7) 福岡教育大学での開催ですが、開催場所の地理的な位置について

近いので参加しやすい ふつう 遠いが、参加した

(8) 大学の公開講座は全て有料制ですが、去年は試行ということで受講は無料でした。今回の有料制について、どのように思いますか。

※ その他の場合、以下にご記入ください。

3 以下のことについて、意見ををお願いします。

(1) 講座の内容について

※1日目

よかった---- □---- ふつう---- □---- よくなかった

※2日目

よかった---- □---- ふつう---- □---- よくなかった

※3日目

よかった---- □---- ふつう---- □---- よくなかった

(2) 今回eラーニングを行いました、いかがでしたか。

よかった---- □---- ふつう---- □---- よくなかった

(3) 今後研eラーニングによる研修を受ける機会があると思いますが、積極的に受講しようと思いませんか。

受けようと思う 受けようとは思わない 必要なら受ける あまり気にしない
 その他

※ その他の場合、以下にご記入ください。

(4) eラーニングでの受講を、人に勧めようと思いませんか。

勧めようと思う 勧めようとは思わない その他

※ その他の場合、以下にご記入ください。

(5) 今回のeラーニングについて、よかった点、よくなかった点等、お気づきのことがありましたらお書きください。

(6) 今後、どのような内容の講座を希望しますか。

4 校内の研修について

(1) 学校種別をお聞かせください。

盲学校 聾学校 知的障害養護学校 肢体不自由養護学校 病弱養護学校
 知・肢併置養護学校 総合養護学校 その他の学校

(2) 校内での研修を計画するときに、今後どのような内容を行う必要があるとお考えですか(複数回答可)。

パソコンの基本操作 パソコンの設定等 ワープロ・表計算等 Webの閲覧・メール操作
 教育課程に関する事 障害に応じた支援機器に関する事 教材ソフトに関する事
 Webのアクセシビリティについて コミュニケーション支援に関する事 その他

※ その他の場合、以下にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

資料3 富士通 WebInspector のダウンロードから点検まで

1. ダウンロード

WebInspector は富士通株式会社の Web サイトからダウンロードできる。フリーソフトとして配布されているため、購入などの手続きは一切不要である。2005 年 2 月現在、WebInspector のバージョン 4.0 が最新である。Windows 版と Mac OS 版(但し、Mac OS X 10.2.3 以降)が提供されている。ダウンロードは、下記の URL から行う。このアドレスにアクセスすると 図 1 に示すようなページが表示される。この中で WebInspector と書かれたリンクを選ぶ。

<http://jp.fujitsu.com/downloads/software/> (2005 年 2 月現在)



図 1 WebInspector ダウンロード画面

2. インストール

ダウンロードしたファイルを展開するとフォルダが作成され、その中に WebInspector のアイコンができる。このアイコンを選択するとプログラムが起動する。詳しいインストール方法は先に挙げたダウンロードページに記述されているので、そちらを参照されたい。

WebInspector を Windows 上で動作させるためには、Java 2 Platform, Standard Edition(J2SE)のバージョン 1.3 以降が必要となる。J2SE はサンマイクロシステムズ株式会社が無償で提供しており、以下のサイトから入手可能である。

<http://www.java.com/ja/download/manual.jsp> (2005 年 2 月現在)

ダウンロード後は、上の URL のページにあるマニュアルに従ってインストールを行う。なお、Mac OS 上で WebInspector を動作させる場合は、J2SE のインストールは不要である。

3. 設定

WebInspector を起動すると、図 2 に示すようなウィンドウが現れる。

チェック対象の切り替えは、[チェック対象] のラジオボタンで行う。ここでは、自分のパソコン上の HTML ファイル（ファイル/フォルダ）とインターネット上の Web ページ（URL）とが選べる。[ファイル/フォルダ] を選んだ場合は、その下のテキストボックスにチェック対象の HTML ファイルまたは、HTML ファイルを含むフォルダをフルパスで指定する。その右にある [参照] ボタンを使用して、選択画面のダイアログボックスから指定してもよい。インターネット上の Web ページをチェックしたい場合は [URL] を選ぶ。インターネット接続環境に合わせて、あらかじめ WebInspector の設定を変更しておく必要がある。

WebInspector ダイアログボックス画面左下の、[環境設定] ボタンを押すと、図 3 に示すような環境設定のウィンドウが開く。主に変更が必要なのは、[プロキシを使用する] という部分と、[詳細結果の追加] の部分である。もし、通常利用している Web ブラウザでプロキシを設定している場合は [プロキシを使用する] にチェックをいれ、アドレスとポート番号をその下の欄に記入する。

[環境設定] ダイアログボックスの [詳細結果の追加] の部分では、チェック結果の出力形式を変更できる。WebInspector は、HTML 形式と CSV 形式をサポートしている。CSV 形式は、点検結果を Excel 等の表計算ソフトやプログラムで処理する場合に向いている。一方、HTML 形式は、チェック結果 Web ページとしてレポート風にフォーマットされているので、可読性に優れている。点検結果の用途によって出力形式を切り替えるのがよいだろう。環境設定が終わったら、[OK] ボタンを押し、設定を有効にする。

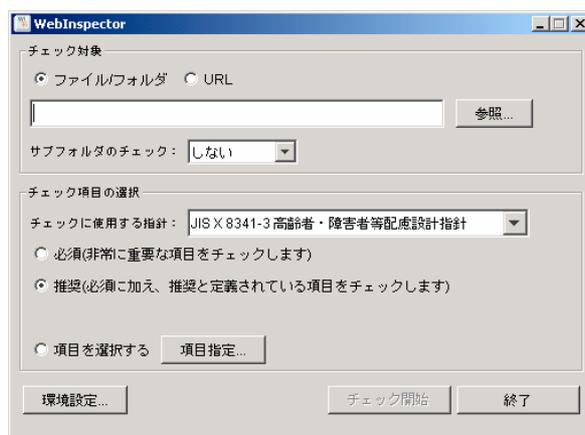


図 2 WebInspector の画面

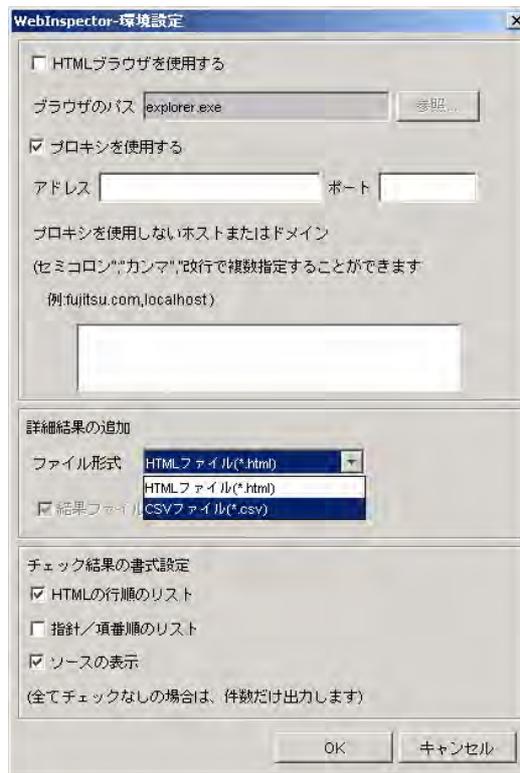


図 3 環境設定ダイアログボックス

4. WebInspector の操作

WebInspector で実際にチェックを行う行程は 2 段階になっている。まず、[チェックに使用する指針] を指定する。ここでは、[JIS X 8341-3 高齢者・障害者等配慮設計指針] か [富士通ウェブ・アクセシビリティ指針 第 2.0 版] を選択できる。さらに、その下のラジオボタンで出力項目の選択ができる。一般的には、デフォルトの状態ではない。

チェックに使用する指針を設定したら、ウィンドウの上の方にある入力欄にチェックしたいファイル/フォルダ、または URL を記入する。それから、ウィンドウの下の方にある [チェックの開始] ボタンを押す。

チェックが始まる前にチェック結果の出力先を指定するウィンドウが現れるので (図 4)、適切なフォルダを選び、ファイル名を付けて、[保存] ボタンを押す。

チェックが終了すると、チェック終了を知らせるダイアログが画面に現れるのでその指示に従う。HTML 形式での出力を選んだ場合、図 5 に示すような結果が得られる。CSV 形式のファイルは、図 6 のように表計算ソフト Excel で閲覧可能である。



図4 「出力先の選択」ダイアログボックス

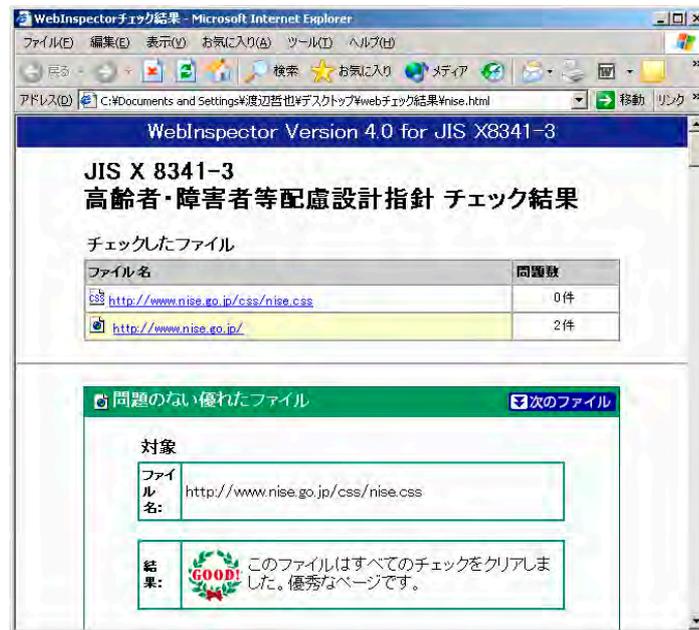


図5 チェック結果 (HTML形式)

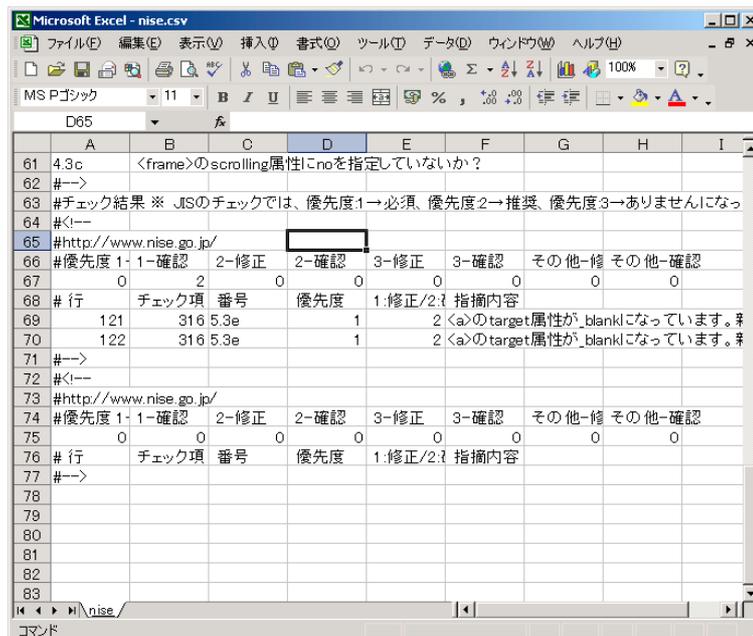


図6 チェック結果 (CSV形式)

資料4 WebInspector 点検結果における優先度の説明

WebInspector 点検結果における優先度と修正／確認は以下の意味をもつ。

- 優先度 1…ウェブサイトで守るべき必須事項を示す。JIS X8341-3 の「必須」に対応している。
 - 例) alt 属性 (代替テキスト) で画像の内容を表現しているか ("スペース"などを指定していないか) ?
- 優先度 2…強い推奨 (アクセシビリティを向上するために効果の高い要件ではあるが、可能な限り対応すべきもの) を示す。JIS X8341-3 の「推奨」に対応している。
 - 例) 文字色と背景色のコントラストは十分か?
- 優先度 3…推奨 (現在のウェブ技術では実現が難しい、工数がかかる、効果が限定されるもの)
 - 例) <bgsound>を使用して音を再生していないか?
- 修正項目: 必ず, 何らかの修正が必要な問題。
- 確認項目: 場合によっては, 問題ではない項目。用途に応じて適宜判断の上, 修正。

優先度 2 と 3 は各ウェブサイトの位置付けや対象ユーザを考慮した上で適用の要否を検討する。

HTML 形式で結果を書き出すときには優先度 1・2 に関するエラー項目が記載される。その他に関しては CSV ファイルにのみに出力される。

富士通ウェブ・アクセシビリティ指針 (PDF ファイルの原本) は, 36 ページの文献 5) の URL からダウンロードできる。

資料5 WebInspector で点検できる JIS 8341-3 アクセシビリティ要件 (19 項目) の内容

- 5.1a ウェブコンテンツは, 関連する技術の規格および, 仕様に則り, かつ, それらの文法に従って作成しなければならない
- 5.2c 表は, 分かりやすい表題を明示し, できる限り単純な構造にして, 適切なマーク付けによってその構造を明示しなければならない
- 5.2e ページタイトルには, 利用者がページの内容を識別できる名称を付けなければならない。
- 5.2f フレームは必要以上に用いないことが望ましい。使用するときは, 各フレームの役割が明確になるように配慮しなければならない。

- 5.3a ウェブコンテンツは、単一のデバイスによる操作に依存せず、少なくともキーボードによってすべての操作が可能でなければならない。
- 5.3e 利用者の意思に反して、又は利用者が認識もしくは予期することが困難な形で、ページの全部若しくは一部を自動的に更新したり、別のページに移動したり、又は新しいページを開いたりしてはならない。
- 5.4a 画像には、利用者が画像の内容を的確に把握できるようにテキストなどの代替情報を提供しなければならない。
- 5.4b ハイパリンク画像には、ハイパリンク先の内容が予測できるテキストなどの代替情報を提供しなければならない。
- 5.4e アクセス可能でないオブジェクト、プログラムなどには、利用者がその内容を的確に理解し操作できるようにテキストなどの代替情報を提供しなければならない。また、アクセス可能なオブジェクト又はプログラムに対しても、内容を説明するテキストなどを提供することが望ましい。
- 5.5b ウェブコンテンツの内容を理解・操作するために必要な情報は、形又は位置だけに依存して提供してはならない。
- 5.6a 文字のサイズおよびフォントは、必要に応じて利用者が変更できるようにしてはならない。
- 5.6b フォントを指定するときは、サイズおよび書体を考慮し読みやすいフォントを指定することが望ましい。
- 5.6c フォントの色には、背景色などを考慮し見やすい色を指定することが望ましい。
- 5.7a 自動的に音を再生しないことが望ましい。自動的に再生する場合には、再生していることを明示しなければならない。
- 5.8a 変化又は移動する画像又はテキストは、その速度、色彩・輝度の変化などに注意して作成することが望ましい。
- 5.9a 言語が指定できるときは、自然言語に対応した文字コードを記述しなければならない。
- 5.9e 表現のために単語の途中でスペース又は改行を入れてはならない。
- 4.2a 視覚による情報入手が不自由な状態であっても、ウェブコンテンツを操作又は利用できる。
- 4.3c 特定の身体部位だけを想定した入力方法に限定しないで、多様な身体部位で、ウェブコンテンツを操作又は利用できる。